

11月5日(木)「千葉大学医工学シンポジウム」開催
～世界に先駆けて開発中の新医療技術や最新研究の拠点化事例を紹介～

国立大学法人千葉大学フロンティア医工学センターは、11月5日に、医工学シンポジウムを開催し、千葉大学が世界に先駆けて開発中の新医療技術や、最新研究の拠点化事例など、診断・治療分野で世界をリードし、社会貢献するための戦略について紹介します。

■シンポジウムの概要について

【テーマ】 **医工学拠点としての千葉大学の世界戦略**

【日時】 **11月5日(木) 9:30～17:15**

【場所】 千葉大学 けやき会館 (西千葉キャンパス)

【参加費】 **無料** (ただし、懇親会参加の方は3,000円)

【申込】 専用申し込みフォーム又はメールにてお申し込み下さい。
詳しくはこちら。

(<https://www.cfme.chiba-u.jp/event/symposium2015/>)

事前受付は10月30日(金)まで。

それ以降の申込みは当日会場にて行って下さい。

【主催】 千葉大学フロンティア医工学センター
千葉大学大学院工学研究科メディカルシステムコース
千葉大学工学部メディカルシステム工学科

【共催】 千葉大学、千葉大学産業連携研究推進ステーション

■プログラム

9:30 **開会挨拶**

千葉大学学長 徳久 剛史
千葉大学研究担当理事 松元 亮治
千葉大学工学研究科長 関 実

10:00 **各研究領域における拠点化の取り組み事例紹介**

「波動生体計測」 山口 匡
「高度医用画像技術」 羽石 秀昭
「低侵襲治療技術」 五十嵐 辰男
「医用ロボティクス」 俞 文偉
「医療技術評価」 中口 俊哉

11:30 **昼休み** (ポスター会場はオープンしております)

12:30 **ポスターセッション**

ポスターと展示物を前にしたフリーディスカッション

14:00 休憩

14:15 **拠点化の実例紹介**

「リンパ浮腫モニタ・医療システム社会実装と学理国際研究拠点によるディプレッション・フリー社会の実現」
武居 昌宏 (千葉大学工学研究科機械系コース)
「カメラ付きトロカールの実用化に向けた試作開発、薬事戦略、ビジネス化」
長尾 俊也 (京セラオプテック)
「低侵襲治療技術の展望」
納谷 幸男 (帝京大学ちば総合医療センター)
「人間中心の医用デザイン」
下村 義弘 (千葉大学工学研究科デザイン科学コース)
「MRIによる体内温度分布の非侵襲画像計測」
黒田 輝 (東海大学)

15:45 **休憩**

16:00 **パネルディスカッション**

モデレーター

五十嵐 辰男(千葉大学フロンティア医工学センター長)
中村 亮一(千葉大学フロンティア医工学センター)

パネリスト

納谷 幸男 (帝京大学ちば総合医療センター)
長尾 俊也 (京セラオプテック)
武居 昌宏 (千葉大学工学研究科機械系コース)
下村 義弘 (千葉大学工学研究科デザイン科学コース)
黒田 輝 (東海大学)
羽石 秀昭(千葉大学フロンティア医工学センター)
鈴木 昌彦(千葉大学フロンティア医工学センター)
山口 匡(千葉大学フロンティア医工学センター)

17:00 **閉会**

17:30 **懇親会**



過去のシンポジウムの様子

取材のお申し込み・本件に関するお問い合わせ
千葉大学フロンティア医工学センター 担当：中口
TEL：043-290-3296 メール：nakaguchi@faculty.chiba-u.jp

